

事業コード	H26-建-継-06			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業			部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防事業			班 名	砂防・防災班 (tel) 018-860-2519
路線名等	前田沢			担当課長名	河川砂防課長 吉尾 成一
箇所名	横手市大森町八沢木字前田			担当者名	主幹(兼) 班長 鈴木 護
総合計画との関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化	
	施策コード	01	施 策 名	健全な県土保全の推進	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づ	

1. 事業の概要

事業期間	H22 ~ H31 ( 10年 )		総事業費	4.7億円	国庫補助率	1/2
事業規模	砂防えん堤N=2基、溪流保全工L=572m、山腹工、土留工					
事業の立案に至る背景	当地区は、保全対象として人家27戸、県道横手大森大内線、県道湯ノ又前田線、公民館等を抱える土石流危険渓流の集中した区域である。流域内は、平成7年や平成13年の豪雨等で山腹崩壊や溪岸侵食が進行しており、溪床には多くの不安定土砂や倒木が堆積しているため、今後の融雪や豪雨により土石流が発生する危険性が高い。また、被害想定範囲には県の第三次緊急輸送道路を含む2本の県道の合流点が含まれており、災害発生時には多大な被害が予想されるため、優先的にハード対策を実施する必要がある。					
事業目的	前田地区住民の人命と財産や避難路の利用者等を守るため、土石流を砂防えん堤で捕捉し、県土の保全と防災力の強化を推進する。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		470,000	470,000	0	
	経費内訳	工事費	330,000	330,000	0	
		用補費	60,000	60,000	0	
		その他	80,000	80,000	0	
	財源内訳	国庫補助	235,000	235,000	0	
		県 債	211,500	211,500	0	
その他		0	0	0		
一般財源	23,500	23,500	0			
事業内容	砂防えん堤工 溪流保全工 山腹工 用地補償		砂防えん堤工 溪流保全工 山腹工 用地補償			
事業の進捗状況	全体計画 C=4.7億円 平成25年度末投資額 C=1.4億円 進捗率 30.0%					
事業推進上の課題	工事用道路が人家の合間を通るため、ルート選定が課題となっている。また、溪流保全工の設置により家屋移転が必要となるため、用地交渉に時間を要している。					
関連する計画等	第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて、県民の基礎的な生活環境を整備するために県が継続的に取り組むべき基本政策のうち、「県土の保全と防災力強化」に位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	全国各地で集中豪雨に伴う土砂災害が発生しているが、県内でも人命を失う大規模な土砂災害が発生している。このため、ハード・ソフト一体となった土砂災害対策の整備が急務となっている。					
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	土砂災害危険箇所整備率				
	指 標 式	概成箇所数/危険箇所数				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無	
	目 標 値 a	25 %		データ等の出典	河川砂防課調べ	
	実績値 b	24.1 %				
達成率 b/a	96.4 %		把握の時期	平成26年 3 月		

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項 なし
	②指摘事項への対応 なし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	3本の土石流危険渓流が集中した区域であり、土石流が発生した場合には、人家27戸、第三次緊急輸送道路を含む2本の県道、公民館等が土石流の直撃を受ける恐れがある。過去にも土砂流出の発生した経緯があることから、地元のニーズは高い。	20点
緊 急 性	流域内は山腹崩壊や溪岸侵食により荒廃が進み、倒木や不安定土砂が堆積している状況にあり、斜面や渓流に危険度の低下は見られない。	10点
有 効 性	砂防えん堤等の設置により多数の保全対象を保護することが出来るため、有効性は高い。また、保全対象の状況に変化はなく、事業の有効性に影響はない。	10点
効 率 性	事業の費用対効果は3.92であり、効率性は高い。また、工法上の課題はなく、工事に着手することが出来れば順調な進捗が見込まれる。コスト縮減についても、コンクリートえん堤に残存型枠を利用するなどの取り組みを進めている。	30点
熟 度	地元要望は強いものの、工事用道路や渓流保全工の線形決定等について地元協議に時間を要したため、事業の進捗は遅れている。しかしながら、これらの個別案件についてもほぼ理解が得られ、今年度から一部工事に着手している。	10点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III ) 地元からの要望が強く、「必要性」「緊急性」「効率性」等から、本事業は高く評価できる。	80点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業実施は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。
---------------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 砂防課所管事業

事業コード(H26-建-継-06)  
箇所名 (横浜市大森町八沢木字前田)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズ	変化なしまたは増加している	20	20	
	県民のニーズの変化	若干低下している	10		
		非常に低下している	0		
	計		20		
緊急性	危険度	変化なしまたは増大している	10	10	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位低下、残斜面安定
	斜面、溪流等の危険度	若干低下している	5		
		非常に低下している	0		
	計		10		
有効性	災害発生時の影響	変化なしまたは増加している	10	10	
	保全対象数の変化	若干減少している(80%以上)	5		
		非常に減少している(80%未満)	0		
	計		10		
効率性	事業の効率性・進捗状況				
	費用便益分析(B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	対策工法、工事に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	10	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5		
		課題はあるが、解決する見込みである	3		
		課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0		
	コスト削減計画	具体的なコスト削減計画がある	10	10	
		具体的な計画はないが、検討中である	5		
		コスト削減計画無し	0		
計		30	30		
熟度	地元の協力状況				
	事業の進捗状況	計画どおり進捗している(100%以上)	10		
		概ね計画どおり進捗している(70%以上100%未満)	5		
		計画より遅れている(70%未満)	0		
	地元住民・関係自治体等に関する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	10	用地、補償物件等
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
		課題はあるが、解決する見込みである	5		
		課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0		
計		30	10		
合計			100	80	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		